



学校だより

令和8年1月15日発行

<第6号>

札幌市立宮の丘中学校

学校ホームページ <https://www.miyanooka-j.sapporo-c.ed.jp/>

三学期の始まりにあたって

校長 細川 直久

新年あけましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、短い冬休みを終え、宮の丘中学校では3学期が始まりました。大きな事故や怪我もなく、子どもたちが元気に登校し、新学期を迎えられたことを大変うれしく思います。

今年は午年（うまどし）です。馬は古くから人々の生活を支え、力強く前へ進む姿や努力を積み重ねる姿勢、そして、仲間と共に行動する姿が大切にされてきました。本校では、この午年にあたり、子どもたち一人一人が自分の力を伸ばすと同時に、周囲と支え合いながら成長していくことを願っています。

馬は、目の前に困難があっても立ち止まらず、一步一步前へ進み続けます。そして、長い道のりを走り抜くために、自分の力を調整しながら、着実に歩みを重ねていきます。子どもたちの学びも同じで、毎日の授業や家庭学習、復習の積み重ねが、確かな力となって身に付いていきます。3学期は、1年間の学びの総まとめとして、これまでの努力が形となって表れる大切な時期です。

学年ごとに見ても、3学期は「次への準備」の学期です。1年生は中堅学年となる準備を、2年生は最高学年として学校を支える準備を、そして3年生は、それぞれの進路に向けた仕上げるの時期を迎えています。それぞれが少し先の自分を思い描きながら、今できることに真剣に取り組んでほしいと考えています。

馬が群れで行動し、互いを感じ取りながら進むように、本校では、子どもたちが仲間を大切にし、声を掛け合い、支え合う姿勢を育んでいきたいと考えています。そうした関わりの中でこそ、人としての成長が生まれると感じています。

3学期は短い期間ではありますが、子ども一人一人のこれからのにつながる、とても重要な時間です。今後も本校では、子どもたちの健やかな成長を支える教育活動に取り組んでまいります。引き続き、保護者、地域の皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。寒い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

